

今、願うこと



藤沢中学校3年 池田 有那

最近、ニュースや新聞などで親がまだ幼い我が子に殴る・けるなどの暴力をふるい、時にはそのかけがえのない命を奪い去ってしまうという事件をよく耳にするようになった。

今の私達、中学生は反抗期ということもあるが、親によくはむかう。もちろん、それに対して親はおこるが、大半は我慢してくれている。そんな親に対して私は「いちいち付き合っているのじゃないのかな」「口げんかになるのがイヤなのかな」と考え、「なんで、私が真剣に訴えていることをしっかりと受けとめてくれないのかな」と疑問に思う。でも、それはきつと親たちが子供たちとの距離を遠ざけたくないからこそ我慢してくれているのだと思う。なぜなら、親の方が私達に言いたいことはたくさんあるはずだからだ。

と思う。さらに、親も私達子供もお互いを尊重し合い、敬いながら生きていければ今以上に親と子の絆が深まるのではないかな。

先日、私は、とても痛ましい事件を耳にした。それは、母親が、まだ生まれて間もない我が子を二人も殺してしまったという事件だ。母親は、「自分の教育のせいで子供がダメになっただけ」と悩んでいたそう。私はこの事件を聞いて、「どうして、よりによって母親に殺されてしまうのだろうか」と、残酷な事件に胸がしめつけられる思いだった。私には、母親に3つの義務があると思っ。それは、「赤ちゃんを産むこと」「育てること」「守ること」だ。どんなに幼い命でも「人は生まれながらに自由で平等な権利を持つ」ということを保障されるべきだ。

この様なことは、何の理由もなく起こるはずがない。きつと何らかの思いがあって、おきてしまうものだ。そんなニュースが放送されるたびに私たち一人一人が心から命や人権とはどの様なものなのか、考える必要がある。そして、一人一人が考えることによって、一日でも早く子が親を、親が子を殺してしまうような惨めで痛ましい事件がおきない世の中になることを、世界中の人々に望み、そして、願いたい。

# 夢

なかるべからず

「異」を力と夢に



とうま 当間ミゲルさん

## スペイン語

本語を母国語としない中学生のための高校進学ガイダンス。スペイン語、中国語、ポルトガル語、各テーブルでいろいろな言語が飛び交う。その

中でも、スペイン語のテーブルが一番熱い。テーブルの中心に座り、熱心に耳を傾け、通訳する男の姿があった。貿易会社社員 当間ミゲル。当間自身もかつては、高校進学を夢見た一人の中学生だった。

## 武者と生まれて描く虹

～ 畠山重忠伝説 ～



### 北条氏の謀略

建仁二年(1202)、頼朝の嫡男頼家に征夷大将軍の宣が下された。しかし、妻若狭局の実家である比企氏を重用したため、幕府内の有力御家人に不穏な空気が漂った。建仁三年八月、頼家が急病となると、北条時政の主導で頼家死後の相続は弟千幡(実朝)と子の一幡に分譲する命が出される。病床の頼家は自分の知らない間にこのような命が出されていたことに驚き、舅である比企能員と北条氏討伐を計る。しかし、そのことを知った時政は比企氏に謀反の疑いありと能員の館を急襲し、北条家と肩を並べた大御家人・比企一族は歴史から姿を消した。一幡とその母若狭局も殺害され、更に頼家も伊豆修善寺に幽閉され、何者かに暗殺されてしまったのだった。

元久元年(1204)三代将

軍となった実朝は、時政の妻の方の縁続き、京都の貴族坊門信清の娘を迎えることとなり、重忠の嫡男重保も使者として京へ向かった。その途中牧の方の娘婿である平賀朝雅の館に宿を求めた時、重保と朝雅の間で争いが起こった。前武蔵守の朝雅と源家に忠誠を尽くし武蔵国留守所惣検校職として武蔵国政の実務を見ていた父重忠との対立が伏線であったかもしれない。このことをきつかけとして、源家を弱体化させ幕府内での主権を狙う時政は、源家に尽忠する畠山氏の討滅の決意をした。

元久二年四月、時政は娘婿の稲毛重成を武蔵国から鎌倉に招聘し謀議を重ねた。重成は帰郷中の重忠へ宛てて、「当時鎌倉中兵起有る」という手紙を届けた。時政の謀略を知らない重忠は、重保をまず鎌倉へ先発させた。六月二十日夕刻、重保は鎌倉に到着した。

## 異文化の一線

12歳の時にペルーから日本にやってきた。日本語がまるつきり分からなかったため、13歳になって常盤小学校の6年生に編入した。初めての外国から来た児童で、周囲も戸惑った。同級生から「宇



熱心な話しぶりに参加者も引き込まれる

宙人」と呼ばれた。その環境から救ったのはサッカーだった。「サッカーは言葉の要らない交流だから」

当間自身も周囲も、どうしても異文化の人間に線を引きたがる。それが嫌で、サッカーを足がかりに、線を自分から消していった。会話に積極的

に加わることが第一歩だったと振り返る。「宇宙人」と呼ばれた子供は、中学2年生頃からは、普通に日本語で会話ができるようになった。

## 深谷に住む深谷人

立高校の一般入試を見事突破した。相当の努力もあつたろうがそれは口にしない。「できなことはない」かつての自分と同じ境遇の中学生に熱く語る。

現在、自動車部品をアジア向けに輸出する業務に携わる。「今は深谷に住む深谷人」だから、いつかは深谷を本社とする貿易会社を立ち上げたいという。輝きに満ちた当間の眼は無限の未来を照らしている。

### 夢七訓

- 夢なき者は理想なし
- 理想なき者は信念なし
- 信念なき者は計画なし
- 計画なき者は実行なし
- 実行なき者は成果なし
- 成果なき者は幸福なし
- ゆえに 幸福を求める者は 夢なかるべからず

(本文中の敬称は本人の承諾を得て省略しています)